

新 生

令和八年九月十日印刷
令和八年九月二十日発行

新生第七十八巻 第三号



東北新生園入所者自治会

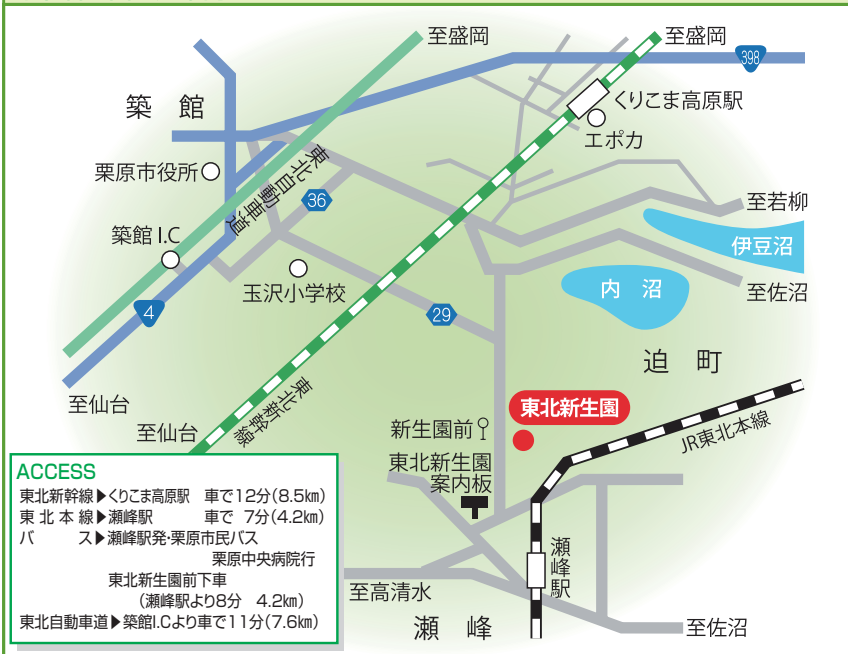
新 生

令和八年九月十日印刷
令和八年九月二十日発行

東北新生園の概況

所在地	宮城県登米市迫町新田字上葉ノ木沢1番地
土地面積	351,291㎡
建物延面積	22,740㎡
開 園	昭和14年10月27日
医療法承認病床	185床
標榜診療科	内科、外科、皮膚科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科
現在入所者数	男5名 女13名 計18名
職員定員数	129名（令和8年4月1日現在）
園 長	三 國 潤 一

東北新生園交通案内図



第七十八巻第三号

園内日誌

令和八年 四月～六月

十・十四日 観桜会行事（抽選会）
東北弁落語「六華亭遊花」

《六月》
らい予防法による被害者の
名誉回復及び追悼の日

【謝寄贈図書欄】

令和八年 四月～六月（敬称略）

多磨 岡山県 邑久光明園	多磨 東京都 多磨全生園	青松 香川県 大島青松園	愛生 岡山県 長島愛生園	始良野 鹿児島県 星塚敬愛園	ハンセン病問題から平和を考える 手をつなぎともに生きる社会へ	創立九十周年記念誌 沖縄県 沖縄愛楽園	開所八十周年記念誌 静岡県 駿河療養所
--------------	--------------	--------------	--------------	----------------	-----------------------------------	------------------------	------------------------

令和8年9月10日 印刷
令和8年9月20日 発行

発
編
印

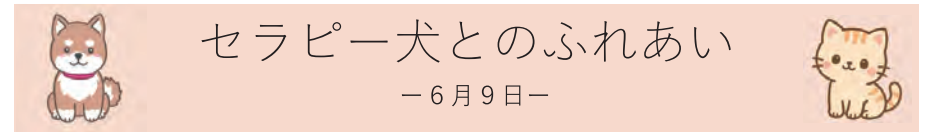
行
集
刷

東北新生園楓会(自治会)
楓会文化部
川内印刷株式会社

〒989-4601

宮城県登米市迫町新田字上葉ノ木沢一

東北新生園 電話 0228 (38) 2121(代)
発行所 東北新生園入所者自治会 電話 0228 (38) 3600



りんごちゃん

まこちゃん

しかまる君



猫のみーちゃん

はのん君



🐾 アニマルセラピーを開催しました 🐾

動物たちとのふれあいを通して、入所者さまの表情も自然と笑顔になり心もほっこり。
癒しのひとときを過ごしました。

「お陰様で…」

看護師 菅 原 奈保美

令和六年十二月より第一メープルケアセンター一階で勤務させていただいております菅原奈保美と申します。

入所者の皆様、スタッフの皆様には日々感謝の気持ちでいっぱいです。

出身は栗原市築館です。幼い頃からずっと看護師になることが夢で、その思いは変わることはなく看護学校へ進学、卒業後は地元に戻り栗原市内の病院で三十一年間勤務しておりました。その間には結婚、出産、育児、家庭と仕事の両立は本当に大変で毎日毎日時間に追われ無我夢中でした。過ぎてみればあつという間で子供達と過ごした時間が、とても

懐かしく感じる今日この頃です。

これまで数多くの患者さんとの出会い、別れがありました。私は消化器内科が長く、中でも若いガン末期の患者さんとの向き合い方は辛く悲しいものがありました。何もしてあげられない、ただ側でみているだけの自分について葛藤の連続でした。

その経験から緩和ケアについてもっと深めたいと思い、緩和ケアの講義を受講する中で「ホスピス緩和ケア」の柏木先生との出会いがあり、とても感銘を受けたお話がありましたので紹介させていただきます。

重度の心身障害をもって生まれた息子さんの介護を四十年間続けてきた老夫婦がいました。息子さんは肺炎のため四十歳で亡くなり、老夫婦は悲しみのため引きこもっていたが、ある時、息子さんの写真を持って旅に出始めました。

ある日の空の旅で、ドリンクサービスの客

ました。

「寄り添うこと」それは看護の原点だと私は思っております。

今こうしてやりたかったことができている幸せに感謝し、これまでの経験と知識を活かし入所者様が最期までその人らしく、そして心穏やかな生活を送ることができるよう努力していきたいと思います。

これからも御指導のほどよろしくお願い致します。

室乗務員にご夫婦はジュースを二つ注文、お二人にジュースを渡した客室乗務員は、窓際の写真に気づき、もう一つコップにジュースを注いで「窓際の方にもお一つどうぞ」と声をかけたそうです。

このお話を聞き、私はとても胸が熱くなりました。引きこもり中だった老夫婦が、旅先での人との出会いにおいて、人生観を変えるような思いを抱いたこと。そして、客室乗務員がご夫婦の気持ちを察し、写真の中の息子さんにもジュースを用意したこと。その場の状況を直感的に察する豊かな感性と、相手思いやる心にとっても感銘を受けました。胸が熱くなる素晴らしいお話で今でも私の心に残っています。

時代と共に変化していますが、ホスピスの援助対象者にハンセン病も入っており、大好きな看護師としての残りの時間は寄り添った看護がしたいとの思いがあり新生園に入職し

ご挨拶

医療社会事業専門員

遊佐信祐

令和八年一月一日付けで新規採用となりました遊佐信祐（ゆさしんすけ）と申します。皆様、どうぞ宜しくお願いいたします。

私は大崎市古川の出身で、これまでは地元の社会福祉協議会で二十一年間、介護保険制度の下、特別養護老人ホームの介護員や生活相談員、居宅介護支援事業所や地域包括支援センターの介護支援専門員等、様々な職種を経験し、数多くの方々と関わりをもってまいりました。新規の利用者様やその家族様に挨拶をさせていただく際、必ずといっていいほど聞かれるのが「遊佐さんって事は、鳴子の方ですか？」という質問です。大崎市鳴子温泉（旧鳴子町）は石を投げれば遊佐か高橋に

当たると言われる程、遊佐人口が多い地域です。実際、私の曾祖父は鬼首の出身であり、古川に移り住んで私で四代目になります。以前にルーツを調べたところ、発祥は鳥海山の麓にある山形県遊佐町でその昔、戦に負けて現在の大崎市鳴子温泉へ一族で落ちのびたのが始まりのようです。昔、先祖発祥の地を見てみたくて遊佐町を訪れた事があります。遊佐小学校、遊佐郵便局等、町の看板等も至るところが遊佐だらけでしたが、地元の方に話を伺ったところ遊佐姓の方は一人もいないと話をしていたのが印象的でした。（現在はいるようですが・・・）

また、幼少期は、いたずらが大好きで祖父が庭で大切に育てていた鯉の池に藁を敷き詰めたり、仏壇の香炉をひっくり返して灰で遊んだりした事もありました。その際は、祖母よりも二度としないようにということでの手の甲に線香を押しつけられ根性焼きをされたのが懐かしい思い出です。（今の時代では

ありえない話ですが・・・）火傷の跡を見ると今でも祖母の鬼の形相が目に見えます。又、体を動かすことが好きだった為、小学校から器械体操クラブに入り、バック転に憧れ毎日練習をしていました。そのおかげで柔軟性と瞬発力が向上し、中学でも部活として継続したかったのですが、器械体操部が無く、以前から興味があった柔道部に入部しました。仲間達や恩師にも恵まれ、高校までの六年間をやり遂げ、宮城県選抜にも選んで頂くことができました。充実した六年間を過ごす事ができました。

趣味はアウトドアやお城や神社仏閣巡り、さらに最近は菅原事務長補佐の三味線に感化され、以前から興味があった沖縄の伝統的な弦楽器である「三線^{さんしん}」を始めたところです。昔から沖縄が大好きで、新婚旅行も迷わず沖縄に行きました。三線の音色を聴くと、どこか懐かしい気持ちになり、気持ちが癒やされます。日々ユーチューブの動画を見ながら一

生懸命練習しています。まだまだ未熟な状況ではありますが、いつか入所者様の前でご披露できるレベルになればと思っています。入職して早いものであつという間に半年が過ぎようとしています。今日に至るまで少しでも入所者様の気持ちに寄り添えればと思い、ハンセン病の歴史や新生園の開設から現在に至るまでの経過など諸先輩方に話を伺い、自分でも書物を読み込みながら学んでまいりましたが、まだまだ知識、経験ともに不足している部分は多々あり、今後も日々学びが必要な状況であります。これまでも民間で培った経験を大いに活かし、少しでも入所者様方の為に良い仕事ができればと思っております。他者との関わりが大好きな為、初対面であつても気さくに話しかけていただくと大変ありがたいです。今後もしもよろしくお願いいたします。

自己紹介

調理助手 畠山泰輔

令和七年五月に東北新生園へ入職しました、畠山泰輔です。

これまで二十年以上、畜産関係の仕事に携わってきました。命と向き合う仕事を通して、相手の小さな変化に気づくことや、責任感を持って仕事に取り組むことの大切さを学びました。

また、畜産の仕事だけでなく、飲食店や特別養護老人ホームで働いた経験もあります。料理が好きになったきっかけは、中学生の頃の出来事です。当時、私の家には友達がよく遊びに来ていて、自然とみんなが集まる場所になっていました。ある日、お腹を空かせた

友達にチャーハンを作って振る舞ったところ、とても喜んでくれました。その笑顔が嬉しく、「食で人を笑顔にできる仕事があった」と思ったことが、料理や飲食の仕事に興味を持つ原点となりました。

東北新生園では、これまでの経験とは異なる環境に戸惑うこともあります。入所者の皆さんや職員の皆さんに支えられながら、多くのことを学ぶ毎日です。特別養護老人ホームでの経験も活かし、一日でも早く力になれるよう努めていきたいと思っています。

私が大切にしているのは、相手を思いやる気持ちです。入所者の皆さんに安心して過ごしていただけるよう、笑顔を忘れず日々の業務に取り組んでいきます。

休日は料理をすることが好きで、特にラーメン作りに夢中です。スープや具材を工夫しながら試作を重ねる時間は、私にとって大切な楽しみの一つです。

まだ学ぶことはたくさんありますが、初心を忘れず、一つひとつの仕事を丁寧積み重ね、信頼される職員を目指して努力していきます。どうぞよろしくお願いいたします。



「初茸ご飯を食べる旅」

齋藤照雄

寮友のIさんが初茸を五百本ほど採ってきて、それを友人知人に配り、隣近所にも配った。そして、私の所にも三十本ほど持ってきてくれた。

Iさんが「明日、初茸ご飯をご馳走するから、花山方面に出かけよう。天気も良いと言っていたから大丈夫と思うが、雨の時はここに持ってきてあげるから。明日はYさんとYさんの乗用車で迎えに来るからね。」と誘ってくれた。

次の日、Iさん夫婦とYさんが迎えに来てくれた。昼食はいらないと職員に断りを入れて

たら、担当の職員が私の部屋まで来て「気をつけて行つてらっしゃい。」と私達を見送ってくれた。

Iさんが分館に出かけてくることを伝え、園を出発した。門を出て北上。熊狩、南條前下八沢、玉沢小学校前を通り、国道四号線へ出る。一迫、花山ダムの西側の縁を通り、橋場食堂兼お土産売り場から橋を渡って、役場前、少年の家、五番所、赤い橋を渡り、坂を上ったところの左側、七曲りを上って平らなところへ出る。そこで車を停め、ビニールシートを広げ、昼食の準備をする。Iさんの奥さんのMさんが、鍋一杯に持ってきてくれた初茸ご飯を取り分けてくれて、四人で美味しくいただいた。お腹いっぱい初茸ご飯をいただき、食後のお茶を飲む。秋のキラキラした日差しに高地の風がひんやりと気持ち良かった。

三時頃、帰りの準備をした。「照雄君、よかつたら晩に食べてくれ。」と、鍋に残った初茸

ご飯をくれた。「遠慮なくいただきます。」あ、鍋は返してね。」笑い合いながら車に乗り込み、帰路につく。来た道を逆に走り、途中築館のヨークベニマルに立ち寄り、Iさんが飼っていた犬と自分たちのための肉と、刺身を私の分まで買ってくれた。「お代は？」と聞くと首を振り「俺は太っ腹だから。」と気前よく奢ってくれた。

帰園し、私の部屋の前に車を寄せて、晩の初茸ご飯の鍋を下ろし、職員にただいまの挨拶をして、「初茸ご飯を食べる旅」は終わった。



詩

佐々木 洋 一 選

◇ 入 選 ◇

《冬枯れに感服》

齋 藤 照 雄

辺りがやけに暗くなり
ざわめきだす
善からぬ奴が現れて
衣服を一枚残らず剥ぎ取られ
その辱めに
罵りに

拷問に

また嚴寒の鞭に耐え

善からぬ奴の暴力に反旗を翻し

言葉もなく仁王立ちして頑張っている

あの冬枯れの雄姿に

俺は感服した

【選 評】

《冬枯れに感服》

齋 藤 照 雄

冬枯れの閑散とした風景を鋭い観察力で切り
取っており、無駄がない。自分の生き様をそこに
垣間見たのかもしれない。

《父の鯉のぼり》

齋 藤 照 雄

俺が物心ついた頃に父から言われた
お前の健康を願い
鯉のぼりを上げてやったんだよ
これからもまた上げてやるからな
間も無く弟が生まれた
父は弟のためにも上げてやると言つて
鯉のぼりは毎年家の庭を泳いだ
それから四、五年経つて
俺は得体の知れない病気に取りつかれた
もう暖かくなつてきたというのに
手はかじかみ
踵にできたあかぎれも治らない
何の病気だろうと
父はお医者者を何軒も周り
それがハ氏病とわかった
折角父が俺の健康を願う

毎年鯉のぼりを上げてくれたのに

悲しくて

申し訳なくて泣いてしまった

そんな俺の心とは裏腹に

父が上げてくれた鯉のぼりは

五月の爽やかな風をうけ

その年も元気に泳いでいた

【選 評】

《父の鯉のぼり》

齋 藤 照 雄

父と子のささやかな愛情のやりとりが微笑まし
い。末尾の三行により作者の気持ちの落胆、痛み
が一層深まった。どこかやるせなさが募る作品で
ある。

短歌

皆川二郎選

◇入選◇

歳重ね厳しき^{しづ}睦^{むつ}ありがたく母を嫌いし
あの日に詫びる 芽生

【選評】

年齢を重ねるごとに、若い時の
厳しいしつけがありがたく感じら
れる。その頃、母を嫌ったあの日
のことが思い出され、今になって
詫びる思いが募っている。作者の
思いに同感させられた一首である。

歌多 眠寝子

曇天に映える雨色紫陽花のワンピース着た
黒髪の君

【選評】

曇り空の日に、紫陽花の花が「雨
色のワンピースを着た黒髪の君」
のようである。との感性豊かな感
じ方に同感させられた。ワンピー
スを着た黒髪の君は、作者にとつ
て忘れることのできない人への思
い出の一首なのであろうか。とて
も印象深い。

芽生

水分はこまめにとりて汗をかけ涼みな
がらに無理はしないで

【選評】

今年の夏も、地球温暖化の中で
猛暑が予想され、常日頃から、暑
さ対策を考えておかなければなら
ないが、この一首は、「水分をこま
めに摂って、汗をかけ、涼みなが
らも無理をしないで」と詠ってい
る。実に名言であろう。評者この
一首に同感である。

◇佳作◇

芽生

ぬかる畑梅雨の晴れ間に種を蒔き豊作
願ひ日々に鉄振る
ナフサない止まらぬ値上げいつまでか
祈り一つよ世界の平和
売店に店番ひとり電話待ち誰かが来る
と通路にぎわう



歌多 眠寝子

スマホ捨て書を持つ部屋に外を見る変
わる町並み流れゆく人

俳句

小松温美選

◇入選◇

蛭狩り息を潜めて目を見張る 芽 生

【選評】 蛭に感付かれないように息を潜め、蛭を見つけようと目を見張る。

蛭狩りの様子を巧みに描写した句。読み手も一緒に蛭狩りに参加している気分。

茶摘み歌歌えば亡き母思い出し 齋藤照雄

【選評】 茶摘み歌を歌われているお母様を浮かべながら、その頃の思い出に浸っている作者。懐かしい茶摘み歌が誰をも優しく包んでいく。

風止みて上がる花火を待ちわびる 芽 生

【選評】 強い風が止んで、花火大会ができそうだ。夏の夜空に開く花火を待ち焦がれる気持ちが伝わってくる句。

◇佳作◇

齋藤照雄

国境を持たず草の実こぼれ合い
おやつにと母が届けたあんぼ柿
狂い咲くつつじ見ようと人の山
望郷台に賑わい呈す春の陣
故郷の山々たらば（タラの芽）出たかしら

芽 生

夏の庭取れたて野菜かじりつく
夏祭り足取り軽く舞い踊る
日傘差し焼けつく道を歩き行く
天の川旅人招く道標
雨上がり夏雲映す水たまり



川 柳

雫石隆子選

◇ 入 選 ◇

《天位》

闘病の勝利ひたすら汗流す

齋藤照雄

【選 評】

故郷を遠く離れ、闘病の歳月を送ってきた作者。趣味の文芸も一冊の本を出版するという実りも見せて、これも闘病の成果の一つでしょう。作品の通りの人生ですね。中七の「ひたすら」の言葉が生き生きと見えます。

《地位》

雨不足沈んだ村がいま見える

芽

生

【選 評】

今年は梅雨時らしくなく、雨の日が少なかったと思います。中七の措辞はダム底に消えた村だと思いが、思いがけず消えた村が見えてしまふ。懐かしくも淋しさ過ぎることだったでしょう。

《人位》

夏竹や一心不乱にナタを振る

千

歩

【選 評】

夏に竹を切りだす、きつと七夕まつりの準備だと思えます。一心不乱と言う四字熟語が、暑さの中で祭りの準備に逸る心を感じます。夏の風情漂う一句。

◇ 佳 作 ◇

齋藤照雄

鎌を研ぎ棘の道への挑戦状
善悪が俺の心を奪い合い
倒れそうで渡れなかった夫婦橋
母優しハ氏病む俺に尚優し
月裏の写真土産にアルテミス

長沼蓮花

エアコンに家族団らん助けられ
暑気払い理由を付けた生ビール
小遣いを減らし広げたドッグラン
物価高食費をおさえ推し活す

千

歩

沈黙を破りご免が言い出せず
誕生日花を飾って仲直り

芽

生

ナフサ無い他国の戦いつままでか
伝え方一つで変わる正しさよ
自由とは責任負って孤独の日

石川優美

染み渡る子どもの言葉ありがとう
笑ってと声がけされてハツとする

歌多眠寝子

竹削りレコード針の変わりにす
カーテンコール止まぬ拍手に目を閉じる
日傘さしあの子はどこへ友と行く

今野モトイ

新生園に勤務するにあたり

看護師 菅原 由美子

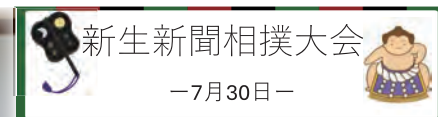
国立療養所東北新生園の皆様、初めまして。令和八年六月一日より第一メープルケアセンター二階に配属となりました、菅原由美子と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

本園に就職する以前は病院勤務のみの経験で本園の勤務にあたり、右も左も分からぬ状況ですが、皆様のご指導のもと新しい学びを沢山御教授頂いております。皆様からの御配慮に大変感謝しております。

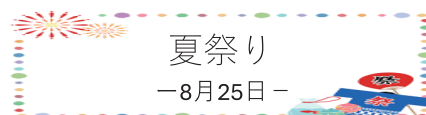
現在大崎市在住ですが、出身は栗原市で本園に就職試験に訪れた際、緑豊かなこの地にとっても親しみを感じました。それが就職してから、より一層大好きな地となりました。そ

の理由は、入所者様の人生観からくる情の深さ、職員の皆様方の暖かさからです。また、当メープルケアセンター二階食堂からの眺望は圧巻で、各地の景勝地を凌ぐのではないかと思います。とても豊かな森林に囲まれいきいきと成長した蓮田。皆様の想いのこもった三重の塔。きつとこれまでの皆様の想いが込められ、このような地になったのだと思っております。出勤し緑に目を向けると背筋が伸びる思いです。森林浴や土いじりが好きで今回就職できたのも深い縁を感じております。

今回、東北新生園で勤務できることに感謝しつつ、誇りに思い勤務させて頂きたいと思っております。また新生園のこれまでの歴史を深く知り皆様のお役に立てるよう努力して参りますので、今後とも御指導の程宜しくお願い致します。



給食からは「かき氷」提供



輪投げや的あて、カラオケ、クイズなどを楽しみました。

自己紹介

作業手 大原 貴志

令和八年六月一日から、作業手としてお世話になっております、大原貴志と申します。私が生まれたのは、東松島市（旧矢本町）の赤井で、東松島市の東部、石巻市のすぐ隣です。近くには赤井小学校や、三陸自動車道の石巻港インターがあります。

東松島市は人口三万七千人程で、JRの駅や三陸自動車のインターがありアクセスが大変便利で、奥松島や野蒜海岸などの観光や市街地の商業施設、飲食店などがあるほか、航空自衛隊松島基地があり航空祭や夏祭りなどでブルーインパルスのアクロバット飛行が行われ、日常的に訓練飛行が見れます。道の駅

兄が新聞配達をやってくれました。毎日、ファミスタ（野球ゲーム）をやっていました。頭がおかしくなるくらいやっていました。それで勉強をしなくなり、成績が悪くなり、就職難もあり、高校を何とか卒業して、東京に仕事に行きました。

東京の生活はテレビで見ていたキラキラしたものとは程遠く、会社と自宅の往復と日常の家事を繰り返す生活でした。八年暮らして宮城に帰ることにしました。ただ何も無いままに戻ることは出来ないのです、第二種電気工事士の免許を取得しました。この資格がしばらく生活を支えてくれました。

実家に戻り農業を手伝いながら、造船所やごみ処理施設などで仕事をしていました。造船所では電線を引っ張る仕事をしていました。船はとても大きく長さ一五〇mもありました。船底に入ると迷路のようになっており狭く、作業灯が消えると真っ暗で不十分な装

東松島では、グッズ販売や退役機の実機を間近で見学できます。

一次産業が盛んで、農業の中心は水稻で、他に畑ではネギやとうもろこし、ハウスではイチゴやトマトが栽培されており、各所にある直売所で販売されています。漁業では海苔と牡蠣が中心で、海苔は皇室に献上されるほどです。

私は農家の次男に生まれ、二歳違いの兄と弟がいます。祖父、祖母、曾祖母、父、母の八人家族でした。子供の頃は近所のお兄ちゃんたちとボール遊び、川釣り、虫取り、ザリガニ釣りなどしていました。泣き虫で、小さいじける、めんどくさいガキでした。小さい頃は兄の影響で少年空手とそろばんを習っていました。テレビを見るのが好きで今も大好きでいつもつけています。十歳位にファミコンが登場し、遊び方が一気に変わりました。家にファミコンが登場したのが十三歳の頃、

備では命に関わる事故になる作業でした。それでも皆で息を合わせ、一〇〇m以上ある長い電線を数名で引っ張っていました。夏は2リットルスポードリンクをガブ飲みして塩飴を舐め涼み、冬はポットのあったかいお茶を飲み、投光器（熱を発する灯）で手を温めながら、何とか仕事をしていました。きつい仕事でしたが、操舵室の中に入れたり一五〇tクレーンを間近に見れたり、進水式を拝見できたり、特別な経験でした。

東日本大震災があつて、造船所は大変な被害があつて存続が危ぶまれ、ごみ処理施設で仕事させてもらいました。石巻広域クリーンセンターは、二市一町の可燃性ごみを焼却する施設で一日に最大二三〇t処理出来る、流動床式ガス化溶融炉という処理方式の施設です。排熱はボイラーにより水を蒸気にしてタービン回転させ電気を生み出します。発電能力は最大出力三三五〇kwで年間売電量は約

七〇三〇世帯分に相当します。施設の中では作業員の皆さんが二十四時間三六五日常駐され、炉室内部温度五〇度を超える場所もある中で作業をしています。最初にごみ回収車の誘導をしました。月曜日は搬入量が多く三〇〇ト位だったと思います。それから、ごみクリーンの操作を教えてもらいました。元々機械操作が苦手で無理だと思いましたが、先輩のサポートもあり何とか迷惑をお掛けしながらこなしていました。炉室内部作業では、ガス化溶融炉という施設には溶融スラグという焼却灰をさらに溶かし冷やし固めたガラス質の物質が生成されます。その途中の過程で大きくなった塊を棒状の道具で突き落とす作業が必要になります。その作業の際、手早く作業をしないと炎が吹き出し、大変な怪我をするのでドキドキしました。そのあと中央監視室でモニター監視など経験させて頂いたのですが、とても難しかったです。交代勤務になり、

日中に時間ができて両親を手伝う時間が増え農業が楽しくなり、本格的に農業手伝いをすることにしたのですが、今後の事を話し合う中で、体力が衰えたり機械操作が苦手だったり、後継問題など色々考えることがあり、都会から帰ってきた時から考えていた空き家を探して一人で暮らしたい願望が目覚め、中々いい物件が無く地震もあり諦めていたのですが、今住んでいる家を見つけ若柳に引越してきました。この家に出会って三年になりやっと落ち着いてきました。この家は小さな庭があり、そこで家庭菜園をしています。いつも何を植えようか、収穫出来たらどう食べようか、冷凍できるかな、いつまで保存できるとか、考えているうちに、時期が過ぎたり枯れたりしていましたが、今年はきゅうり、トマト、枝豆などを育てています。キュウリは五本収穫出来ました。トマトは少し色が変わってきました。農業を手伝っていた頃は、

トマトなら三百本、とうもろこし三千本とか管理していたのに、ひとりでやってみると、三本もまともに育てられないのかと情けなくなります。肥料、害虫、病気、水、温度管理など難しいもんだな、本を読んだり動画を見たり勉強中です。

若柳に来る前は、古川、迫町までは買い物などで来ていました。詳しい道路や地名までは知らなかったので迷ってばかりでしたが何とか落ち着いてきました。

現在、作業手として仕事させて頂いておりますが、先輩方には園内案内、作業の内容、注意点、機械操作など、その都度細かく、何度も教えて頂いて、ありがたく思っています。

五十二歳の新人は、とても扱いにくいと思いますが、私も人生の後半戦を精一杯生きようと思いますので、ご指導よろしくお願いいたします。



栄養班だより

令和8年 5月～7月までに提供した献立です！



← 5月1日(金)
少し早めの「端午の節句」に
「ちらし寿司」と仙台銘菓
「萩の月」を提供しました。



← 7月7日(火)
「七夕」の行事食です。
「ちらし寿司」提供しました。



6月26日(金)
昼食の「冷やし中華」です。
一説には「冷やし中華」は、
仙台が発祥とされています！ →



【手作り梅ゼリー】

東北新生園で収穫した「梅」で、
「梅シロップ」を作り
ゼリーに調理しました！ →

新生園の梅仕事

紫陽花と雨露が、きらきらと光る「梅雨の季節」に、
東北新生園の「梅」を収穫しました！

【梅酒】	
梅	1kg
ホワイトリカー	1.8ℓ
氷砂糖	おこのみの量

果実酒用瓶 8ℓ に対して

【梅シロップ】	
梅	2.5kg
氷砂糖	2.5kg



1. 収穫した、梅の実を
しっかり洗って水切りします。



2. 梅の水分を拭き取り、
ヘタを取ります。



3. 梅を消毒した瓶に入れ、
氷砂糖や酒を入れる。



4. 梅シロップは、
約3週間したら完成！

※ この間に瓶を1日1回必ず回す。

梅酒は、三ヶ月後からが、
飲み頃です！

「梅」には、
「疲労回復」などの
たくさんの効果があるよ

四コマまんが

作・太田 凜

